

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市藤が岡三丁目計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県藤沢市藤が岡三丁目24-1	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、第二種住居地域	平均居住人員	357人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年2月1日
敷地面積	4,398㎡	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,638㎡	確認日	2021年2月1日
延床面積	8,455㎡	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

②建築物の取組み 81% (37 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

③上記+②以外の 81% (37 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

④上記+ 81% (37 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境	3.1
温熱環境	3.8
光・視環境	3.8
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	2.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
地域の景観に配慮したボリューム設定とし、道路等の公共空間との間に植栽を施し、周辺からの見え方に配慮した計画とした。また、周囲への圧迫感の軽減の為、アルミ手摺や飾り柱を用いて建物ボリュームを分節し、周囲の街並みとのスケールの調和を図った。		
<b>Q1 室内環境</b> ・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	<b>Q2 サービス性能</b> ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・建物の配置、形態、植栽などを周辺環境との調和に配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・住宅性能表示基準断熱性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。 ・自治体の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される